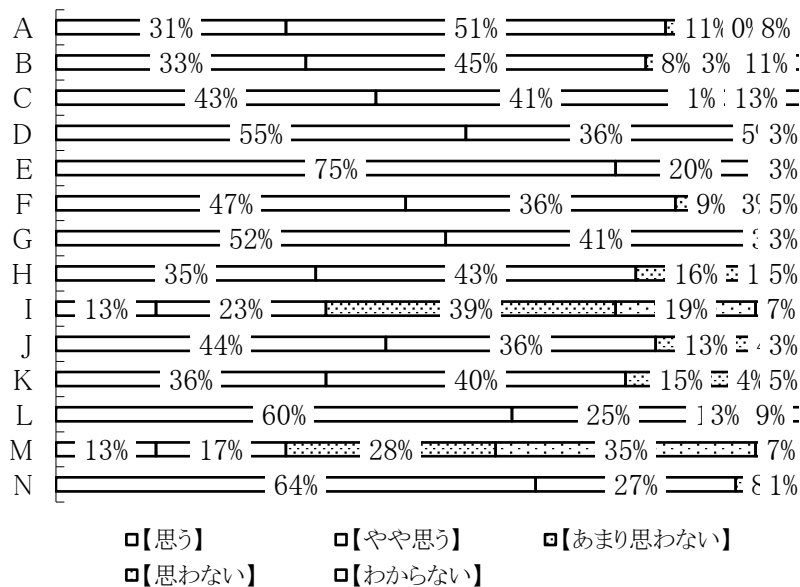
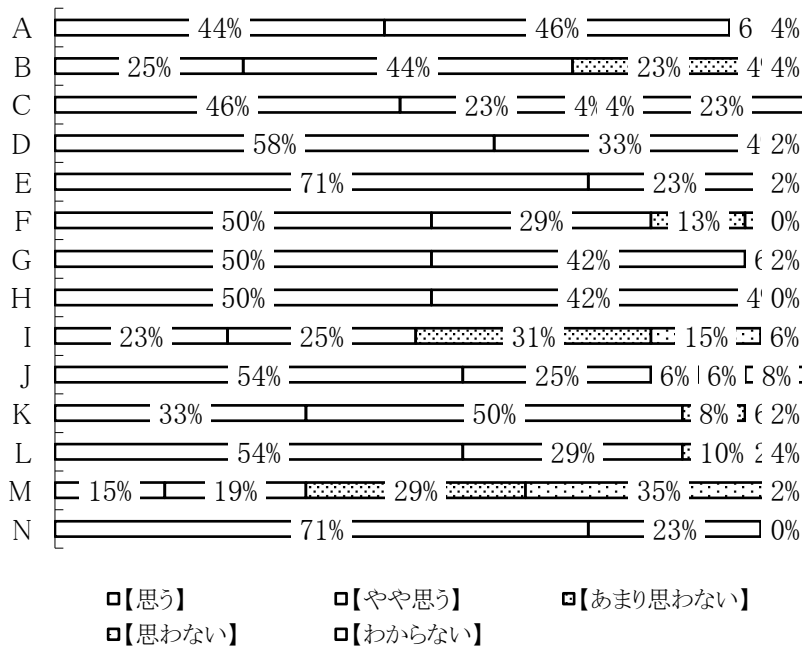


平成 30 年度のアンケート結果



質問項目	
A	よくわかる授業で学力がついてきた。
B	生徒指導が徹底され、落ち着いた学校生活が送れている。
C	学校の進路指導を信頼している。
D	クラブ活動を通して学ぶことが多い。
E	学校行事の盛んな学校である。
F	挨拶をよくするようになった。
G	マナーや学校のルールを大切にしている。
H	家庭学習の時間が増え、学習の習慣が身についてきた。
I	ボランティア活動には積極的に参加している。
J	学校に行くことは楽しい。
K	学校の施設・設備は整っている。
L	先生方は生徒に対して適切な対応をしている。
M	学校のホームページはよく見る。
N	学校の連絡文書は必ず保護者に渡すようにしている。

令和元年度のアンケート結果



元年度 - 30年度 = 前年度比較

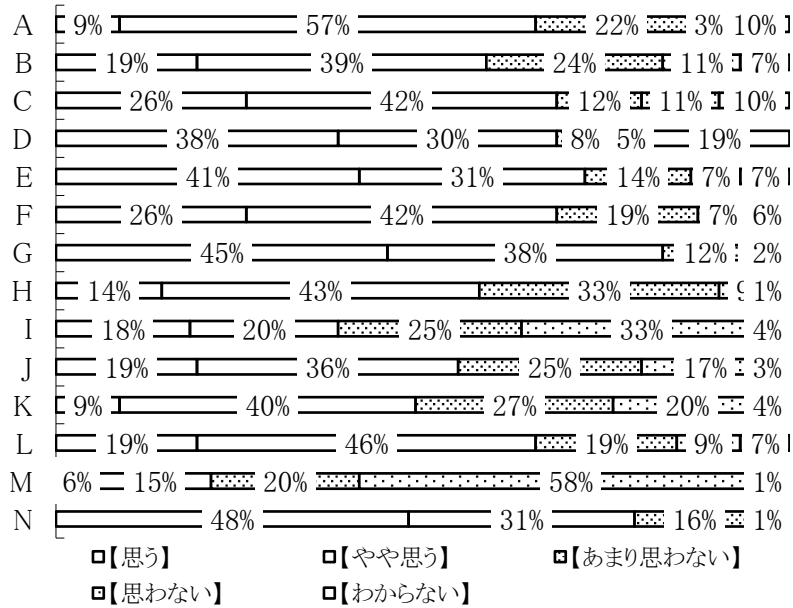
A	90	82	+8 (88)
B	69	78	-19 (90)
C	69	84	-15 (86)
D	91	91	0 (80)
E	94	95	-1 (96)
F	79	83	-4 (82)
G	92	93	-1 (97)
H	92	78	+14 (76)
I	48	36	+12 (51)
J	79	80	-1 (77)
K	83	76	+7 (84)
L	83	85	-2 (92)
M	34	30	+4 (45)
N	94	91	+3 (91)
平均	78	77	+1 (81)

各数値は【思う】と【やや思う】を合算した割合(%)。()内は 29 年度の割合。

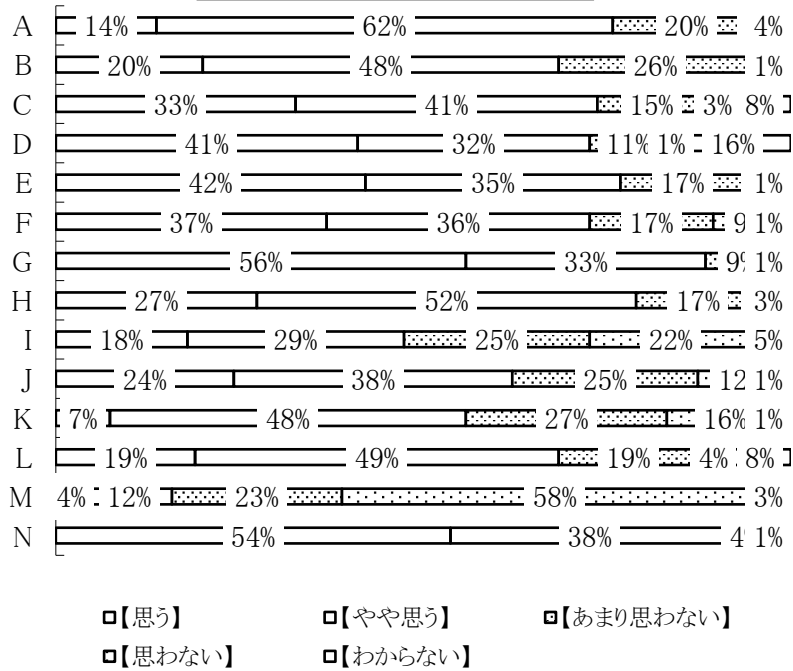
評価分析

昨年度と平均を比較するとほぼ変化がないが、項目別に見ると今年度大きな特徴が表れた。まず、A「よくわかる授業」90%、H「学習習慣」92%とそれぞれ大きく評価を伸ばし、特に H は毎年上昇を続け、過去最高となった。自学自習が習慣化され、学校の授業にもその成果が反映されて、よい循環ができつつある。長年、学習習慣の定着を懸案事項としてきたが、今回の結果に満足することなく、さらに向上を目指していきたい。一方、I「ボランティア活動」の伸びも大きいですが、さらに意識を高めていきたい。課題は、毎年評価を落としてきた B「生徒指導」と C「進路指導」である。指導方法に変化はないと思うが、生徒目線に立って検証し、早急に善後策を講じたい。

平成 30 年度のアンケート結果



令和元年度のアンケート結果



質問項目	
A	よくわかる授業で学力がアップしてきた。
B	生徒指導が徹底され、落ち着いた学校生活が送れている。
C	学校の進路指導を信頼している。
D	クラブ活動を通して学ぶことが多い。
E	学校行事の盛んな学校である。
F	挨拶をよくするようになった。
G	マナーや学校のルールを大切にしている。
H	家庭学習の時間が増え、学習の習慣が身についてきた。
I	ボランティア活動には積極的に参加している。
J	学校に行くことは楽しい。
K	学校の施設・設備は整っている。
L	先生方は生徒に対して適切な対応をしている。
M	学校のホームページはよく見る。
N	学校の連絡文書は必ず保護者に渡すようにしている。

元年度 - 30年度 = 前年度比較

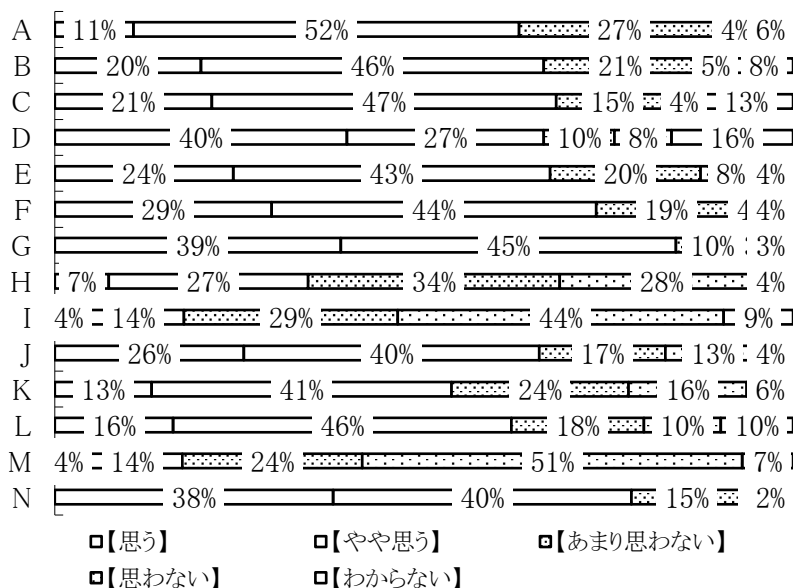
A	74	66	+8	(60)
B	70	58	+12	(74)
C	74	68	+6	(71)
D	73	68	+5	(58)
E	77	72	+5	(70)
F	73	68	+5	(68)
G	89	83	+6	(84)
H	79	57	+21	(55)
I	47	38	+9	(27)
J	62	55	+7	(73)
K	55	49	+6	(43)
L	68	65	+3	(73)
M	16	21	-5	(20)
N	92	79	+13	(83)
平均	68	61	+7	(61)

各数値は【思う】と【やや思う】を合算した割合(%)。()内は 29 年度の割合。

評価分析

ここ2年間、評価は下げ止まりの感を呈していただけに、今年度の全体的な上昇は六年制の勢いを感じさせる。過去最高であった平成28年度の平均67%をも1%ながら凌駕した。A「よくわかる授業」74%、H「学習習慣」79%とそれぞれ大きく評価を伸ばし、特にHの昨年比21%の上昇は注目に値する。この傾向は今年度、付中と一致しているので、中高一貫教育の成果が反映されつつある。しかしその一方で、B「生徒指導」・C「進路指導」の評価は付中では低く、高校では高くなっているため、一致するよう改善に努めたい。I「ボランティア活動」の47%は全項目中、最低評価ではあるが、年を追うごとに高まってきているので、さらなる意識向上に努めたい。

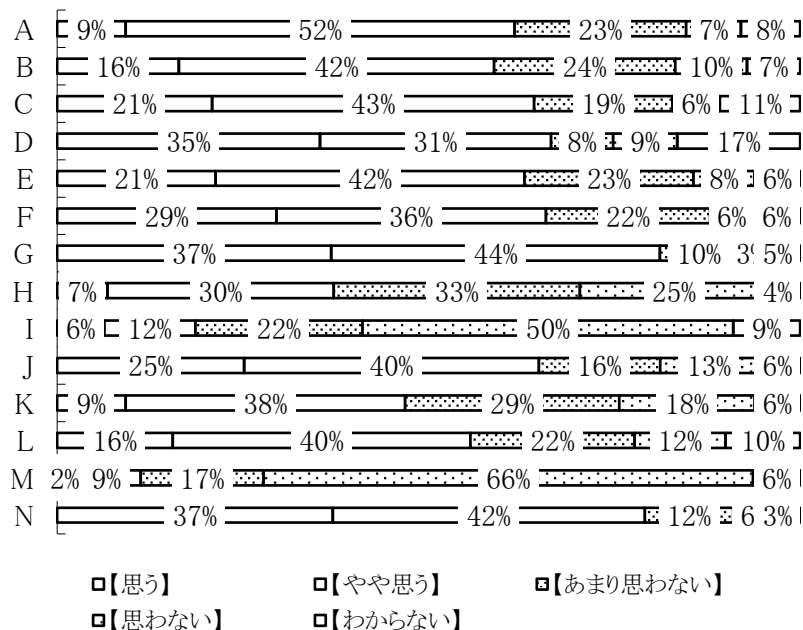
平成 30 年度のアンケート結果



質問項目

A	よくわかる授業で学力がついてきた。
B	生徒指導が徹底され、落ち着いた学校生活が送れている。
C	学校の進路指導を信頼している。
D	クラブ活動を通して学ぶことが多い。
E	学校行事の盛んな学校である。
F	挨拶をよくするようになった。
G	マナーや学校のルールを大切にしている。
H	家庭学習の時間が増え、学習の習慣が身についてきた。
I	ボランティア活動には積極的に参加している。
J	学校に行くことは楽しい。
K	学校の施設・設備は整っている。
L	先生方は生徒に対して適切な対応をしている。
M	学校のホームページはよく見る。
N	学校の連絡文書は必ず保護者に渡すようにしている。

令和元年度のアンケート結果



元年度 - 30年度 = 前年度比較

A	61	63	-2	(57)
B	58	66	-8	(60)
C	64	68	-4	(65)
D	66	67	-1	(63)
E	63	67	-4	(58)
F	65	73	-8	(63)
G	81	84	-3	(83)
H	37	34	+3	(31)
I	18	18	0	(17)
J	65	66	-1	(58)
K	47	54	-7	(45)
L	56	62	-6	(58)
M	11	18	-7	(12)
N	79	78	+1	(73)
平均	55	58	-3	(53)

各数値は【思う】と【やや思う】を合算した割合(%)。()内は 29 年度の割合。

評価分析

好意的評価が年ごとに高まりを見せていただけに、今年度の結果を真摯に受け止め、改善に努めたい。普通科で特に力を入れてきた C「生徒指導」と F「挨拶」が同じく 8%、L「先生方の対応」が 6% 下降、と下げ幅の大きいことから、学校の指導体制や教員の指導方法について早急に見直しを図りたい。また、J「学校が楽しい」の評価はほぼ横ばいで安定しているが、さらなる生徒・教員間の信頼関係の構築のために、生徒に寄り添って指導したい。H「学習習慣」の 34% は他項の数値と比べると低くはあるが、年ごとに上昇してきていることがわかる。地道な指導の成果の表れだと考えられるが、さらに家庭学習を定着させるために授業内容や方法を工夫していきたい。